



東北連合会開催

9月20日(土)、仙台市の「ホテル白萩」で東北6県の教区県連による「東北連合会」が開催されました。これは、各県の輪番制で毎年開催しているもので、今年は、宮城県が担当し「研修会」と「懇親会」を開催しま



2025.09.20 東北連合会・研修後(ホテル白萩)



塩竈道院での紙芝居

大澤隆管長 縁起

不撓不屈の誓いと創始の日

10月に入りました。澄み渡る秋空に心地よさを感じる季節となりました。今月は、私たちにとつて大切な二つの日があります。一つは10月5日の達磨大師の命日にちなむ「達磨祭」、もう一つは10月25日の「少

した。
集まった皆さんは、一年に一度の開催のため懐かしい方々が大半でした。楽しい時間をありがとうございました。来年も楽しみですね。

林寺拳法創始の日」です。

達磨大師は、釈尊の正しい教えを伝えるために数々の困難を乗り越え、中国へ渡られました。その不撓不屈の精神は「七転び八起き」と言い表されます。戦後の混乱期、開祖がどうやって人としての道を説くか悩んでいた頃、夢に達磨が現れ、開祖はそれを啓示と受けとり、少林寺拳法を創始する際の大きな指針となりました。私たちが道場で修行を続けることも、この精神を



仙台杜都道院での稽古で

今後の予定

- ◎10月 5日(日) 本山公認講習会(おむらいすすたじお)
- ◎10月19日(日) 仙台市武道祭(青葉体育館)
- ◎10月26日(日) 宮城武専・昇格考試(青葉体育館)
- ◎11月 9日(土) 鎌田礼二の三祝会(ホテルグランドパレス塩釜)

寺拳法東北連合会懇親会



2025. 09. 20 東北連合会で宗昂馬師家と

日常に生かす実践の一つです。途中で諦めず、何事にもやり遂げようとする心こそが、自分自身の可能性を開花させ、周囲をも勇気づける力となります。

また、10月25日は少林寺拳法創始の日です。開祖は「人づくりによる国づくり」を志し、達磨大師の教えを拠り所として、拳技を人づくりの行へと組み立て直しました。そこには「自分の人生を切り開くのは、自分自身」という確信があり、武道的な要素と宗教的な要素を併せ持つ、世界に類を見ない組織の誕生へとつながりました。私たちもこの日にあたり、開祖の志を改めて胸に刻

みたいと思います。

修行の歩みは、決して派手なものではなく、小さな積み重ねの連続です。時に停滞や迷いもありますが、振り返れば「よくここまで続けられた」と自らを励ます力となり、それは周囲からの信頼へとつながります。長く続けることの価値を信じ、細くとも途切れることなく修行を重ねていきましょう。

この10月を、達磨大師の遺徳と少林寺拳法の創始にかけた開祖の想いを振り返り、自らの可能性を信じて歩みを新たにす月といたしましょう。どうぞ健康にご留意いただき、日々の修練に励んでいきましょう。

中国古典 紹介

くに おき
国を治むるはなお樹を栽うるが如し

『貞観政要』

名君の誉高い唐の太宗が語ったことばである。では、国を治める道がなぜ「樹を栽うるが如し」なのか。太宗は、その理由をこう語っている。

ほんこんうご
「本根揺かざれば、則ち枝葉茂栄す。君

よく清浄ならば、百姓なんぞ安楽ならざるをえんや」
ひやくせい

木というのは、根や幹さえしっかりしてい

れば、枝葉は自然に繁茂する。それと同じように、上に立つ君主が身を慎めば、人民の生活もおのずから安定するはずだ、というのである。

太宗の語っていることを、企業経営にたとえれば、次の二つの意味を汲み取ることができよう。

一、経営方針を確立し、経営基盤を固めること

一、トップが身勝手な言動を慎み、率先精励すること

この二つの原則を踏みはずさなければ、明るい展望が開けてくるのだという。

塩竈道院での稽古で

